

第 122 回

2015.8.17

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業316社、回答企業197社、回答率62.3%
調査対象期間	2015年4～6月期の実績、7～9月期および10～12月期の予想
調査時点	2015年7月上旬～下旬

要約

4～6月期の業況判断はやや改善 7～9月期、10～12月期も改善が続く見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断BSIについては、悪化した1～3月期と比べ、4～6月期（前期 当期： 15 12）はやや改善した。前回調査時の予想（ 10）と比べると、やや悪化している。業種別では、製造業（同： 34 14）が改善した一方で、非製造業（同： 6 12）は悪化した。

一方、先行きについて、7～9月期の業況判断（±0）は、景気の緩やかな回復が続いている現状を反映し、改善する見通しである。また、10～12月期の業況判断（+8）も、悪化を予想する企業の割合が低下していることなどから、改善が続く見通しである。

4～6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期より上昇し、総投資額も大手製造業での大幅な増加により前年同期比50.0%増の約211億円となった。また、先行き7～9月期の計画は、実施企業の比率は前年同期とほぼ横ばいであるが、金額は同71.2%増の見込みである。

一方、今後1年間の設備投資意欲については、製造業、非製造業ともに悪化し、全業種でも2期連続で悪化している。

1. 概況 (全産業)

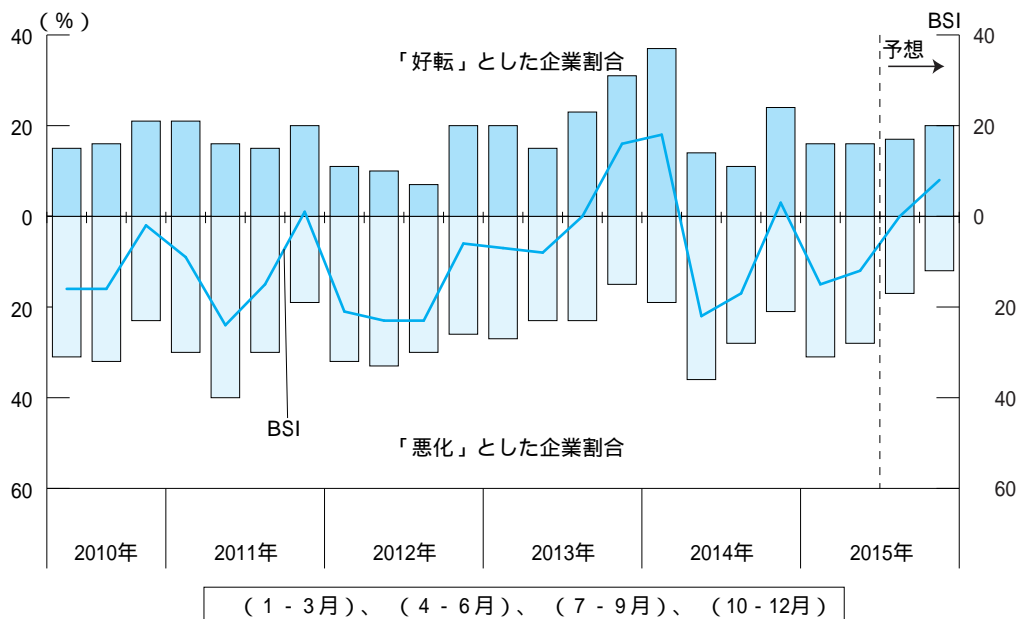
【2015年4～6月期の実績】 業況判断はやや改善、前回調査時予想よりもやや悪化

県内企業の当期（2015年4～6月期、以下同じ）の動向をみると、緩やかな景気回復が続く中、2014年10～12月期以来、2期ぶりにやや改善した。

これをBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値）でみると、前期に比べ、売上げBSIは 8 8、収益BSIは 11 12、業況判断BSIは 15 12となっている。一方、前回調査時の業況判断BSIの4～6月期予想は 10であり、やや悪化している。

4～6月期の業況判断BSIを2010年からみると、16 24 23 8 22 12（今回）と推移しており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が顕著であった前年同期に比べると大きく上昇している。

企業経営者による業況判断



図の見方

アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転（増加）」「不変」「悪化（減少）」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を差し引いた値です。

このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、景気の転換点（景気の山、谷）や「好転感が県内の各企業にどの程度広がっているか」といった「浸透度」をみる事が可能です。

前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

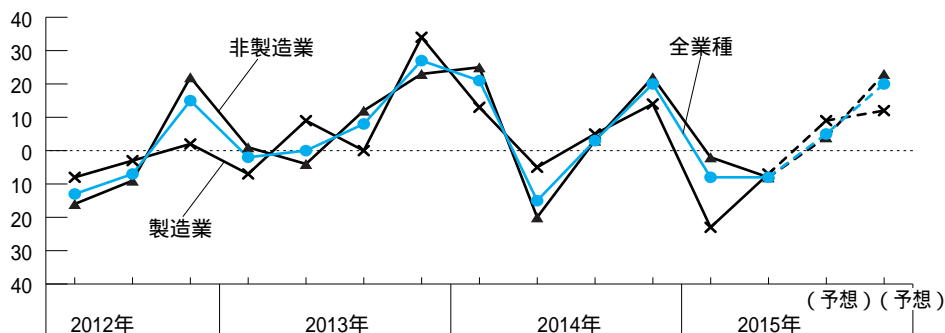
【2015年7～9月期の予想】 業況判断の改善が続く見通し

7～9月期の予想は、緩やかな景気回復が続く中、4～6月期に比べ、全業種の売上げBSI（85）、収益BSI（123）、業況判断BSI（120）はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIは、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減がみられた前年同期の実績（17）を上回る見通しとなっている。

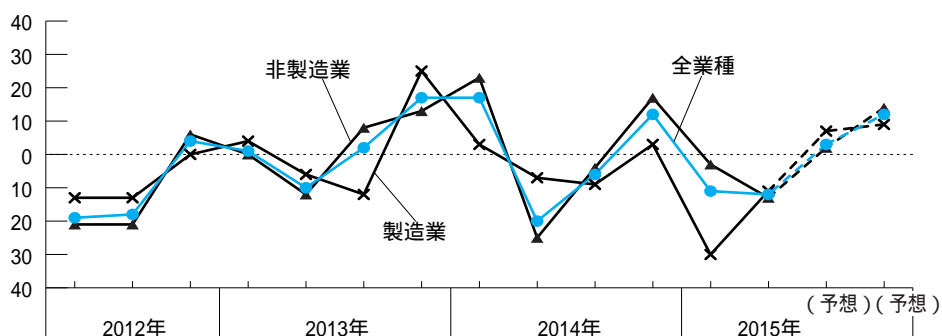
【2015年10～12月期の予想】 業況判断の改善が続く見通し

10～12月期の予想は、悪化を予想する企業の比率が低下していることなどから、7～9月期に比べ、売上げBSI（520）、収益BSI（312）、業況判断BSI（08）は引き続き改善する見通し。また、この業況判断BSIは、前年同期実績（3）を上回る見通しとなっている。

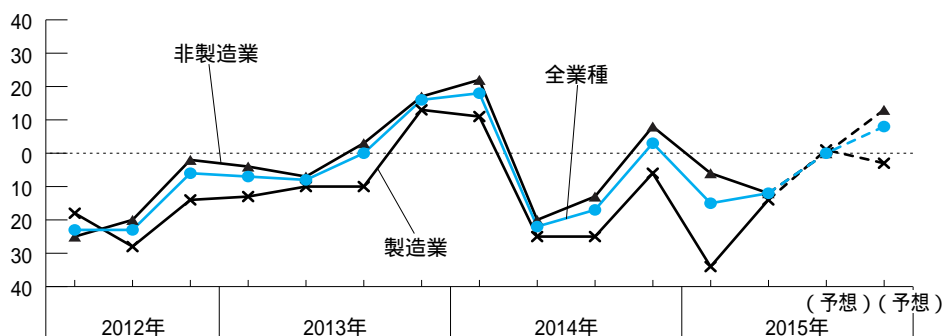
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

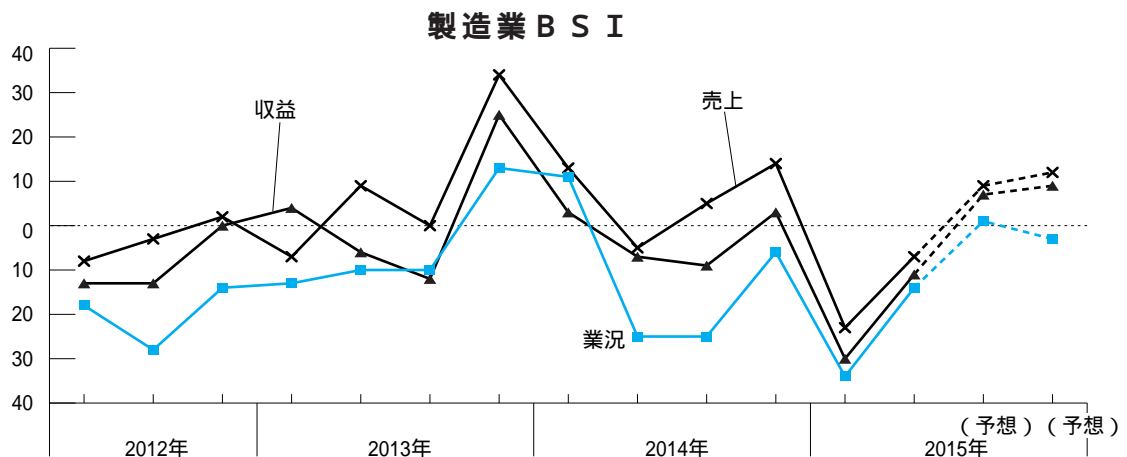
【製造業の現状】 業況判断は改善したが、前回調査時予想よりも低い水準

前期に比べ、売上げBSI（23 7（前回調査時の予想14））、収益BSI（30 11（同14））、業況判断BSI（34 14（同 8））はともに改善した。前年同期と比べると、売上げBSI（5 7）はやや悪化、収益BSI（7 11）は悪化、業況判断BSI（25 14）は改善、と分かれた結果となっている。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期は改善の一方、10～12月期は悪化の見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（7 9）、収益BSI（11 7）、業況判断BSI（14 1）はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（25）よりも26ポイント上回っている。

10～12月期の予想は、7～9月期予想に比べ、売上げBSI（9 12）、収益BSI（7 9）はやや改善の一方、業況判断BSI（1 3）は悪化する見通し。この業況判断BSIの予想は、前年同期（6）よりも3ポイント上回っている。



3. 非製造業の動向

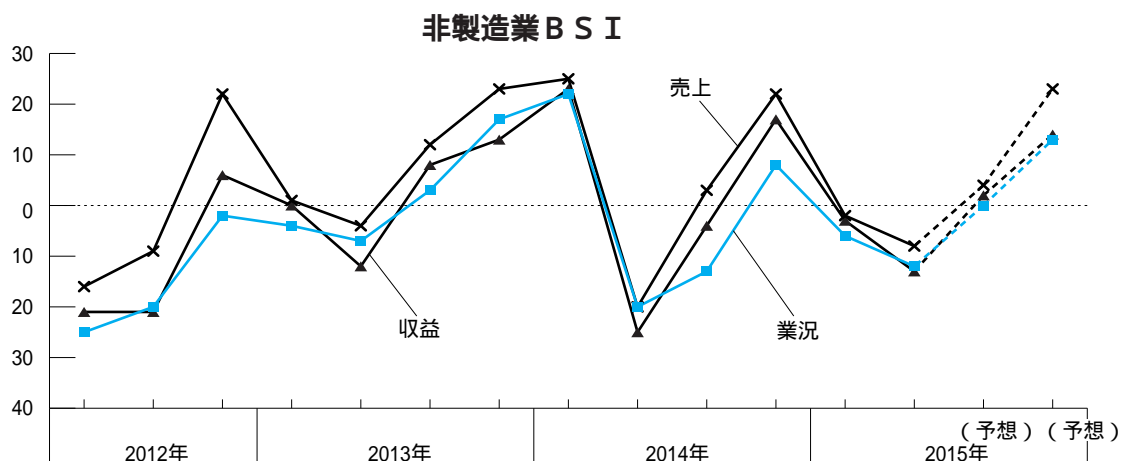
【非製造業の現状】 業況判断は悪化し、前回調査時予想と比べてもわずかながら悪化

前期に比べ、売上げBSI（2 8（前回調査時の予想 10））、収益BSI（3 13（同 13））、業況判断BSI（6 12（同 11））はともに悪化した。一方、前年同期と比べると、売上げBSI（20 8）、収益BSI（25 13）、業況判断BSI（20 12）はともに改善している。

【先 行 き】 業況判断は、7～9月期は改善、10～12月期も改善が続く見通し

7～9月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（84）、収益BSI（132）、業況判断BSI（120）はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（13）を13ポイント上回っている。

10～12月期の予想も、7～9月期予想に比べ、売上げBSI（423）、収益BSI（214）、業況判断BSI（013）はともに改善する見通し。また、この業況判断BSIの予想は、前年同期（8）を5ポイント上回っている。

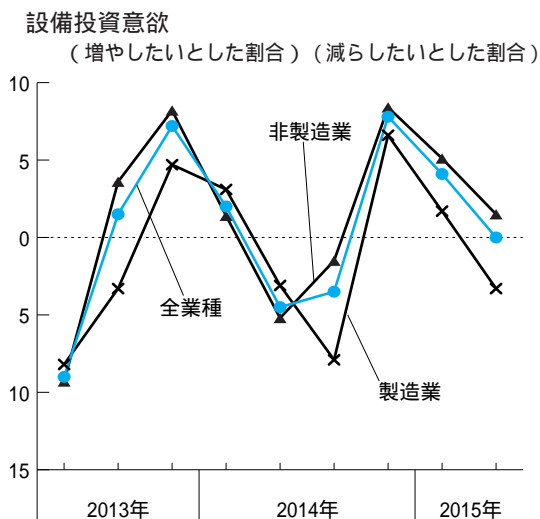


4. 設備投資の動向

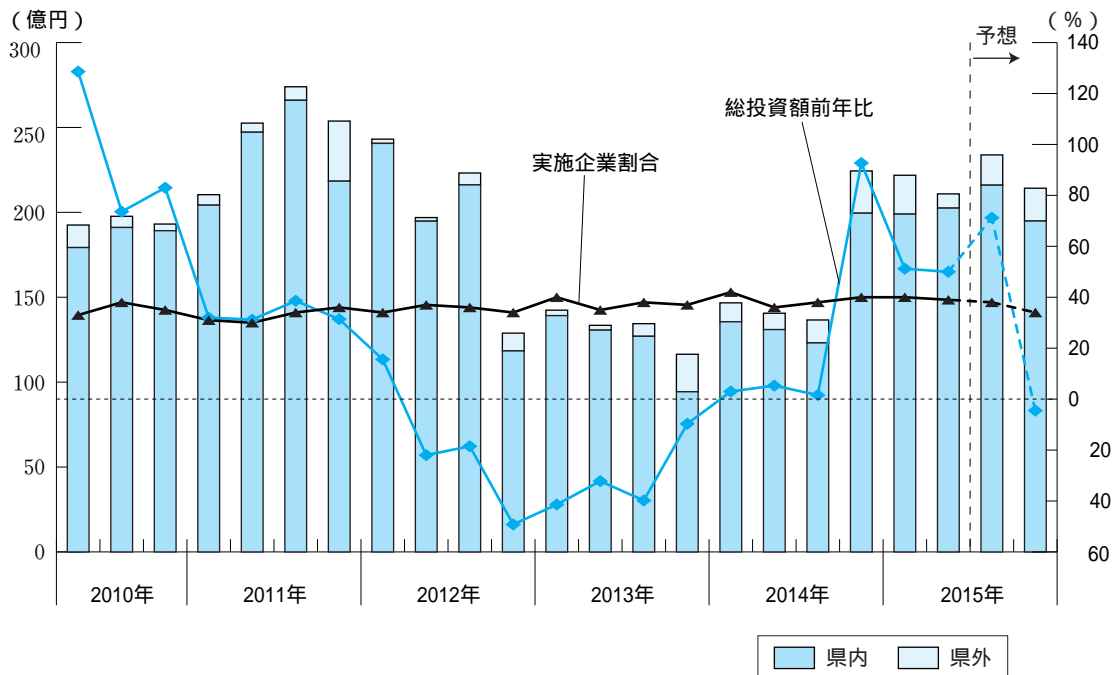
回答企業（全産業）のうち、当期において1百万円以上の設備投資（新規リース契約を含む）を実施した企業は全体の38.6%、総投資額は210億88百万円（うち、県内投資額は202億50百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業ともに大幅に増加したことから、全体でも50.0%増となった（前期比では4.9%減）。また、実施企業の割合は2.9ポイントの上昇となっている。

先行きの計画をみると、7～9月期の実施企業割合は38.1%で前年同期とほぼ横ばいであり、総投資額は約234億円で前年同期比71.2%増となる見込みである。10～12月期の総投資額は約214億円で同4.5%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」、「減らしたい」とともに15.7%、「ほぼ変わらない」が68.5%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、今後の設備投資を手控えたいとする企業が増えていることから2期連続で低下した。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、42.6%で前年同期より2.7ポイント低下した。一方、総投資額は、大手電子・化学関連部品メーカーでの大幅な増加により、186億37百万円（前年同期120億69百万円）で前年同期比54.4%増加、うち県内投資額は184億31百万円（同118億91百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率がほぼ横ばい、「既存設備の補修更新」は上昇、「合理化・省力化」は低下している。

先行きの計画については、7～9月期の総投資額は約197億円で前年同期比79.0%増の一方、10～12月期は約186億円で同5.8%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合（19.7%）が「減らしたい」とする企業割合（23.0%）を3.3ポイント下回り、この差は前期（+1.7ポイント）から悪化している。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、36.8%で前年同期より5.4ポイント上昇した。また、総投資額は、卸売業、小売業、不動産業などでの増加により、24億51百万円（前年同期19億90百万円）で前年同期比23.2%増加、うち県内投資額は18億99百万円（同12億4百万円）となっている。

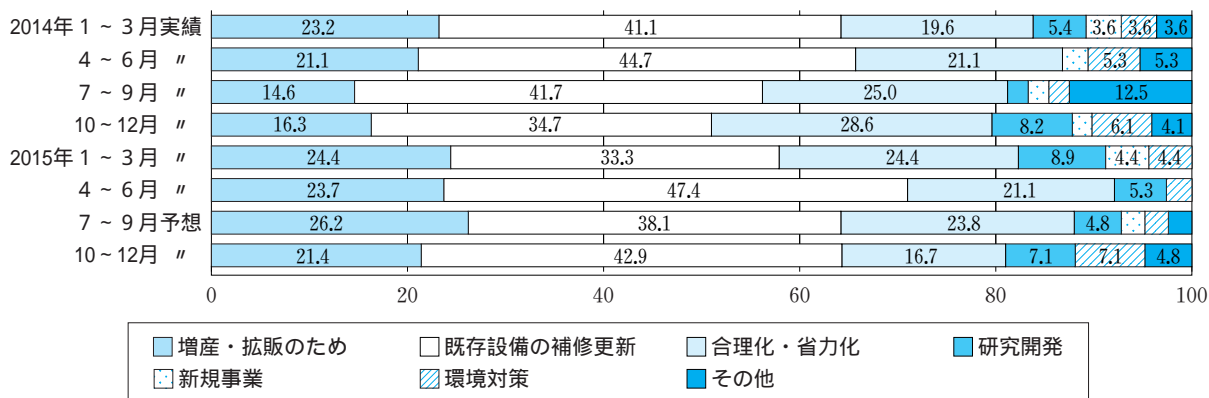
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」、「合理化・省力化」の比率が低下した一方で、「既存設備の補修更新」は上昇した。

先行きの計画について、7～9月期の総投資額は約37億円で前年同期比38.6%増、10～12月期も約29億円で同4.7%増となる見込みである。

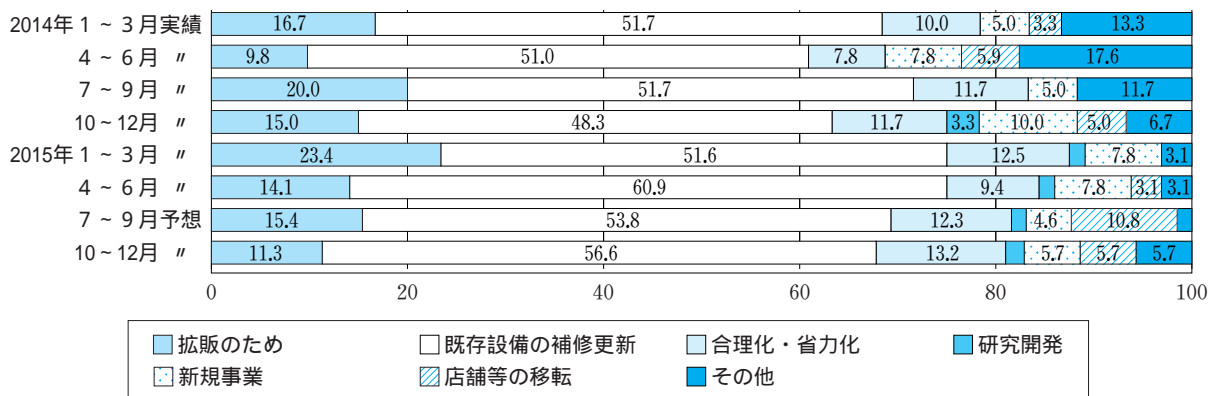
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合（14.0%）が「減らしたい」とする企業割合（12.5%）より1.5ポイント上回ったが、この差は前期（+5.1ポイント）から縮小している。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	1	0
	1～3百万円未満	1	1	0
	3～5百万円未満	3	1	2
	5～10百万円未満	3	1	2
	10～50百万円未満	115	29	86
	50～1億円未満	46	16	30
	1億円以上	28	12	16
	計	197	61	136
従業員数	10人未満	15	6	9
	10～30人未満	47	11	36
	30～50人未満	43	12	31
	50～100人未満	38	7	31
	100～200人未満	29	10	19
	200～300人未満	8	7	1
	300～	17	8	9
	計	197	61	136

	業種	回答
製造業	食料品	7
	繊維製品	4
	木材・木製品	12
	パルプ・紙	2
	化学工業	7
	窯業・土石	5
	機械・金属	17
	その他	7
	計	61
	非製造業	建設業
運送業		16
卸売業		40
小売業		25
サービス業		36
その他		0
計		136
総数	197	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2013年10～12月実績	31	54	15	16	30	53	17	13	31	55	14	17
2014年1～3月 "	37	44	19	18	30	51	19	11	41	40	19	22
4～6月 "	14	50	36	22	11	53	36	25	16	48	36	20
7～9月 "	11	61	28	17	9	57	34	25	12	63	25	13
10～12月 "	24	55	21	3	20	54	26	6	27	54	19	8
2015年1～3月 "	16	53	31	15	9	48	43	34	20	54	26	6
4～6月 "	16	56	28	12	20	46	34	14	14	60	26	12
7～9月予想	17	66	17	0	21	59	20	1	15	70	15	0
10～12月 "	20	68	12	8	13	71	16	3	23	67	10	13

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2013年10～12月実績	47	33	20	27	51	32	17	34	45	33	22	23
2014年1～3月 "	44	33	23	21	41	31	28	13	46	33	21	25
4～6月 "	28	29	43	15	32	31	37	5	26	28	46	20
7～9月 "	31	41	28	3	33	39	28	5	30	43	27	3
10～12月 "	44	32	24	20	39	36	25	14	46	30	24	22
2015年1～3月 "	28	36	36	8	22	33	45	23	31	36	33	2
4～6月 "	29	34	37	8	31	31	38	7	28	36	36	8
7～9月予想	27	51	22	5	30	49	21	9	26	52	22	4
10～12月 "	34	52	14	20	28	56	16	12	36	51	13	23

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業				製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2013年10～12月実績	39	39	22	17	46	33	21	25	36	41	23	13
2014年1～3月 "	41	35	24	17	36	31	33	3	43	37	20	23
4～6月 "	24	32	44	20	31	31	38	7	21	33	46	25
7～9月 "	26	42	32	6	25	41	34	9	26	44	30	4
10～12月 "	36	40	24	12	31	41	28	3	39	39	22	17
2015年1～3月 "	26	37	37	11	22	26	52	30	28	41	31	3
4～6月 "	24	40	36	12	28	33	39	11	22	43	35	13
7～9月予想	23	57	20	3	28	51	21	7	21	60	19	2
10～12月 "	28	56	16	12	25	59	16	9	29	56	15	14

(注) B S I =(好転)-(悪化)